



帯広東ロータリー・クラブ会報

[2020-2021年度]

会長／池田 誠 幹事／大塚 正昭 会報編集 メディア委員長／山口 信博

■創立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 Tel(0155)24-1234

第1712回例会 (令和2年10月27日㊤ 於 ホテル日航ノースランド帯広)

起 立 加藤 昭治 SAA
点 鐘 池田 誠 会長
開 会 宣 言(帯広東RC第1712回例会)

ロータリーソング

それでこそロータリー

ゲスト紹介 池田 誠 会長
元帯広市議会議長 嶺野 侑 様

ビジター紹介 加藤 雄樹 副会長
会 食



日 時 令和2年10月29日(木)
午後6時30分

場 所 北海道ホテル

②・帯広北RC、10月30日(金)は休会と致します。

・帯広東RC、11月3日(火)は祝日のため休会と致します。

・帯広南RC、11月9日(月)は休会と致します。

・帯広南RC、11月23日(月)は祝日のため休会と致します。

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 令和2年11月26日(木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

④帯広北RC、移動例会開催のご案内

日 時 令和2年11月27日(金) 午後0時30分

場 所 ふじもり(西2条南11)

⑤帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 令和2年11月30日(月) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル



会長挨拶

池田 誠 会長

皆様、こんにちは。

前回の例会は悠湯館での夜間移動例会ということで、馬淵会員にはお世話になりました。本日は、元帯広市議会議長 嶺野侑様に「日本、北海道、十勝の過去における事故、疫病」ということでご講演いただきます。

昨日、柴田ガバナー補佐同席のもと5RCの会長幹事会が開催されました。

議題はローターアクトクラブの細則変更の件、そして3月27日開催予定でありますIM、7クラブ合同例会、5クラブゴルフコンペについてです。

まず、ローターアクト細則変更については、原案が来ていますので何かあれば幹事クラブの西クラブに連絡することになっています。そして、5月22日開催予定の5クラブゴルフコンペは予定通り開催をするということです。7クラブ合同例会については、IMの状況をみてIMに合わせるとの事で、開催するか中止するかはIMしだいという事です。

そしてIMですが、現在柴田ガバナー補佐が他分區の状況も見ながら開催するか検討されていますが5クラブの会長幹事の話の聞きたいとの事でした。

ただ今後コロナがどうなるのか予測もつかない状況ですので、開催はしたいが今の状況を見る限り判断はできない。出来るだけ早く決断をすることが必要である。との事でした。

話は変わりますが、早いもので会長ノミニーの選出の時期になりました。

帯広東ロータリークラブ細則 第3条 理事および役員の選出に従い会長ノミニーおよび次年度副会長、幹事、会計、会場監督、および5名の理事の指名をお願いいたします。

会長ノミニーについて立候補や推薦したい方がいらっしゃいましたら11月3日までに私までお知らせください。次年度役員・理事につきましては深澤会長エレクトにお任せいたします。

会務報告

大塚 正昭 幹事

①帯広西RC、夜間例会開催のご案内

委員会報告(割愛)

加藤 昭治 SAA

ニコニコ献金

親善活動委員会

高氏 英年 会員



出席報告(割愛)

出席委員会

プログラム

出席委員会

鎌田 勉 会員

今日のプログラムは元帯広市議会議長、嶺野 侑 様に北海道十勝の過去における伝染病・疫病についてというお題でお話を頂きたいと思ひます。



元帯広市議会議長 嶺野 侑 様

【北海道・十勝の過去における伝染病・疫病について】

今年も、東ロータリークラブの皆さんに、こうしてお招きを頂き大変光栄で感激しております。

皆さんの平素のご活躍に心から感謝を申し上げます。今日のテーマは、今まさに収束の見通しがつかないコロナは世界を恐怖に落とし入れてお

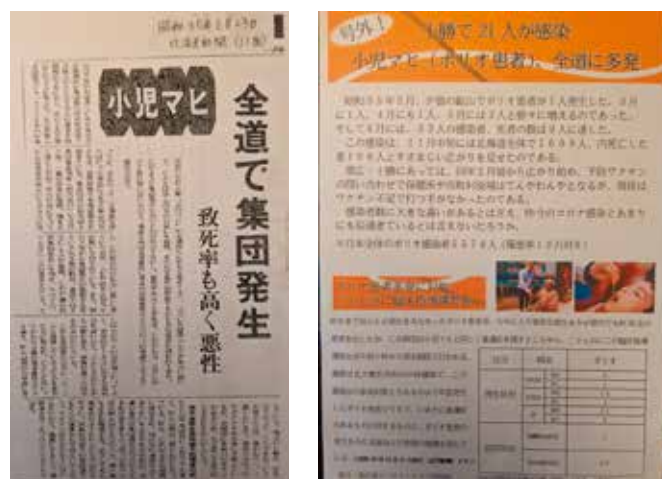


ります。こういう感染病は、すぐ第一次世界大戦前のスペイン風邪以来かなという話題が多いのでありますが今から60年前、北海道が中心であった感染病がありました、それはポリオでありました。このポリオも大変人々を恐怖に落とし入れました。山間地は日本では当時昭和35年といいますが、北海道と九州の筑豊と福島ありましたが、まだ、北海道ではとくに基幹産業でありました、6月になりまして炭鉱は山神祭りというお祭りがにぎやかに全山で繰り上げました。そのころから、幼い子供が爆発的に高熱を發し呼吸困難になるという感染病がみえてきました、最初は炭鉱病院ではわかりませんでした、風邪と思っていましたが、直ぐ札幌医大に子供を連れて行くと、教授は、これはポリオであると、丁度専門医師が一年前に子供が免疫になっているので、世界のあちこちで発生しているポリオで、北海道は炭鉱が多いから危険であるという学会で警鐘をならしたばかりでありました。高熱を發し嘔吐をする、呼吸困難になり、幸い治っても死亡率は大変高いです、一割でありますから、治っても手足がマヒを起こし、小児麻痺になってしまいます、今のコロナとの反対は、コロナはお年寄りが感染しやすい、若い者は感染しにくく、むしろ症状で軽傷である、ポリオは成人から大人は比較的感染しづらい、例外がありました、あの太平洋戦争で日本が戦った当時のアメリカの大統領はルーズベルトといいましたしょうしん小児麻痺でありました、ポリオである小児麻痺であったのです。(中略)

昭和35年一年間で北海道に発生した感染者であります、全国では5千5百78人でございます。

コロナに比べると比較的低いわけですが、死亡率は高かった、しかし、古井厚生大臣の英断に現在、コロナ後の世界はそして日本はどうなるかという話題がたくさん出ています。おそらく時代は大きく変革していくでしょう、ポリオ後どうなったか、石炭産業は結論的に言うと、壊滅に向かいました、明治以来日本の近代工業を支え、日本の産業のエネルギーであった石炭は、壊滅してしまいました。しかしポリオが終息したころ石炭が一つも無くなると考えて人は少なかった、スクラップアンドビルドと言う言葉がよく出ました、乾燥のよい、採掘条件のよい炭鉱はビルドアップ、採算に合わない炭鉱は潰してスクラップにするスクラップアンドビルド、だけどしかし実際には確かに北炭などは近代的な導入はしましたけれど、200人の犠牲をだした、坑内火災がとどめをさして廃坑に追い込まれましたし、残った山も一つもありません。それでも、昭和40年頃です、赤平に明治系列の豊里炭鉱と言うのがありました、廃坑の方針を打ち出した、炭鉱で働く父親をみた小学校4年生の女の子が、少女が佐藤栄作総理大臣に手紙を送りました、父さんの仕事がなくなります、炭鉱を潰さないでください、丁度昭和40年、札幌市民会館で佐藤栄作首相は一日内閣を開きました、各界の代表が要望し質問しました、開会前に控室で少女が佐藤総理に会いました、総理は頭を撫でて炭鉱は潰れないしお父さんは仕事を失わないから一生懸命勉強しなさいよ、新聞にも出ました、しかし一年も経たずして豊里炭鉱は潰れてしまいました、エネルギー革命が決定的にありました、ポリオの終息と時代は付設を合したのです、それから私の身近な生活環境、全国のそして全道の市町村は単独であるいは公力で終末処理場を建設し下水道管を埋設して、汚染と汚水とトイレの水洗化、帯広でこの工事が本格化したのは、昭和40年代後半なのです、まだ、汲み取り式のトイレで、バキュームカーが汲み取りをやっておりまして、そういう時代でありました、あれからまだ、50年しかたっていない、もうそんなに経ったのかの思いとまだ、それだけかの思いと、まだ日本が水洗トイレという文化的な生活水準になって日はそんなに経っていないとい

う事なのであります。生活環境はこのように一遍してしまいました、これは非常に良くなったことです、大変よくなったことです、衛生協力会などという組織が市内にありました、戦争中から衛生係というものがおりまして、やる事は、制服を着て長靴をはいて、便所の汲み取り口を消毒して蚊やハエの発生する汚水の側溝を消毒する人がいました、住民組織で衛生協力会がありました、このような事も昔物語になってしまいました、住民組織も大きな変化が起きました、大変な激変だったのです、コロナ後も大きな予測できない激変がやってくるかもしれません、そしてポリオ時代との違いはポリオの時代は高度成長経済の真最中、人口は伸びている時代、日本も地方も、しかし、コロナの今日は、人口は歴史的な世界に類を見ない減少傾向をたどっている、経済は成長する経済ではありません低長経済であります、コロナ対策ばかりではありませんが、経済対策に打ち込んだ、そればかりではありませんが、国の財政赤字、地方の財政赤字はまさに天文学的な数字であります、それを次世代にツケを回していかなければならないという、私は、いささか後世の世代にためらいを、感じざるおれないのでありますが考えてみると、いかなる時代にも難しい壁はあった、その壁を逞しく打ち破った事実革新もありました、きわめて困難な時代であります、生態系の破壊変化、地球温暖化、感染症の新たな感染症が必ずやってくる、今度は、それに対応する新たなワクチンを開発しなければならぬ、そういう時代もやってくるでしょう、必ず歴史は繰り返しますが、後世を活かして次の世代により良い世界、よりよい日本を、より良い帯広を、十勝を築いていけるように、私たちは出来る限りの知恵と力を次の世代にバトンタッチをしていかなければ、ならないと思うのであります、奉仕活動に大きな貢献をされておられます、皆様方のご活躍に深甚なるたいしの誠を捧げとともに、東ロータリークラブの一層のご発展を、お祈りし、ご清聴を感謝していつはなる話を閉じさせて頂きたいと思ひます。ご清聴有難う御座いました。



会長お礼挨拶 池田 誠 会長

閉会宣言 加藤 昭治 SAA

点 鐘 池田 誠 会長

次回プログラム予定

令和2年11月3日 「祝日休会」
11月10日「会員卓話」(国際奉仕・ロータリー財団委員会)
角 高紀 委員長【ロータリー財団について】